

Adobe Illustratorについて

クリアファイルのかさまーと 入稿データ作成ガイド

- ▶ クイックチェックポイント 1
- ▶ PDF/X-4の保存方法(イラストレーター) 2
- ▶ 対応バージョンについて 4
- ▶ トンボ(トリムマーク)と塗り足しについて 5
- ▶ レイヤー(データ作成場所)について 6
- ▶ 文字のアウトライン化について 7
- ▶ 画像の配置について(埋め込みとリンク) 8
- ▶ パターンの使用について 10
- ▶ 文字(フォント)サイズについて 10
- ▶ オーバープリント(K100%のスミノセ)について 11
- ▶ 特色(スポットカラー)について 12

■クイックチェックポイント

ご入稿前に必ず確認してください。

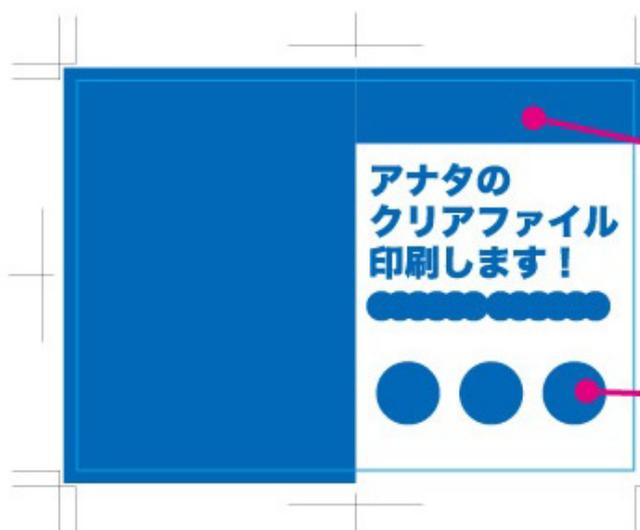
イラストレーターでの作成の場合は、同一データ内にカラーデータと白データをレイヤー分けして作成してください。ご入稿いただくデータは一つになります。(リンク画像がある場合はリンク元画像も含めてご入稿ください。)

弊社でご用意可能な白版の場合は、白版データの作成は不要です。ご入稿時に白版についての項目でご選択いただくか、メール等でご指示ください。



カラー版レイヤー

- データ形式は **.AI** もしくは **.PDF(X-4)** ですか？
- 塗りたしは **3mm** ありますか？
- 文字は **アウトライン化** されていますか？
- 画像解像度は適切ですか？
- カラーモードは **CMYK** になっていますか？
- 不要な仕上がり線などは残っていませんか？
- 特色は含まれていませんか？



白版レイヤー

- 特色 **White (C:100, M:50)** の色設定になっていますか？
- 特色 **White (C:100, M:50)** 以外の色設定のオブジェクトは残っていませんか？
- カラー版よりも **-0.1mm 内側に小さく** もしくは **0.1mm 外側に大きく** なっていますか？

■ PDF/X-4への保存方法（イラストレーター）

■ PDF プリセットの読み込み・登録の方法

- ①メニュー「編集」→「Adobe PDF プリセット」を選択します。
- ②プリセット「読み込み」をクリックし、「**かさまーと PDFX4 プリセット.joboptions**」を選択し、登録します。※プリセットデータはテンプレートデータのフォルダ内に入っています。

・「かさまーと PDFX4 プリセット.joboptions」

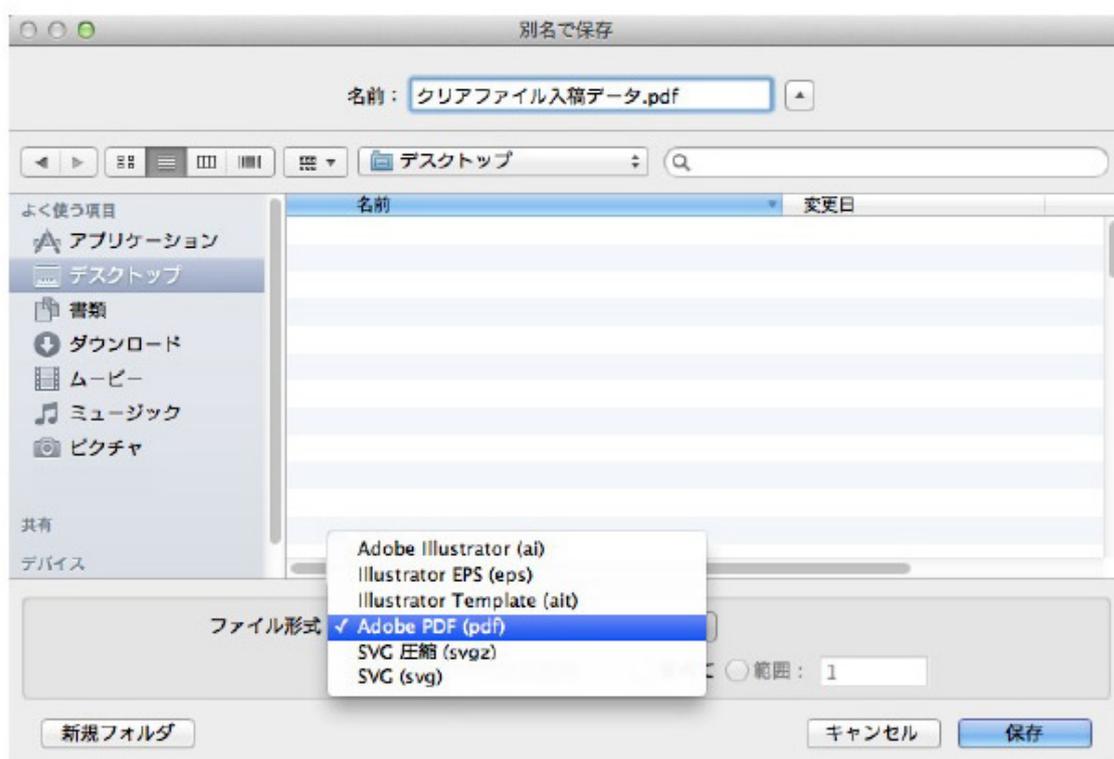
準拠する規格：PDF/X-4：2010

オプション：上位レベルのレイヤーから Acrobat レイヤーを作成

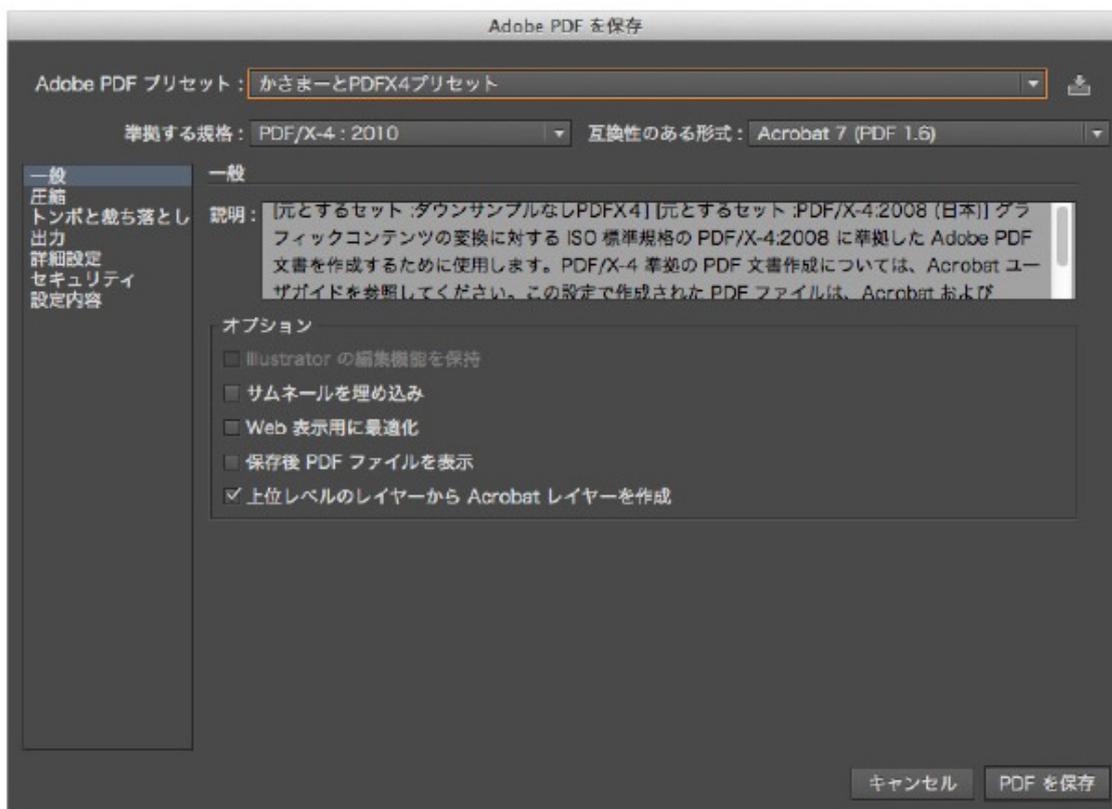
圧縮：全て ダウンサンプリングしない

プリセットデータを読み込み後、次回以降は PDF 保存時にかさまーと PDFX4 プリセットを選択するだけで、PDF/X-4 保存が可能です。

ファイル形式 **Adobe PDF(pdf)** を選択して保存してください。Adobe PDF プリセットは必ず **かさまーとPDFX4プリセット** で書き出して下さい。



次のページへつづく→



なお PDF 保存時に以下のダイアログが出た場合は「OK」で進行してください(ただし、PDF の元となるIllustratorデータは必ず別途保存しておくようお願いします)。



■ 対応バージョンについて

Illustrator 8.0J・9.02J・10J・CS・CS2・CS3・CS4・CS5・CS6・CCに対応しております。

■ Illustrator9.02 での入稿注意点

※属性パレット内にあるアウトプットを 800 に設定してください。バージョンダウンして 8 形式でも保存できますが、不具合の原因になりますので保存はバージョン 9 形式で保存してください。

※透明効果、グラデーションを使用している場合、使用されているオブジェクトを選択し、透明効果を使用している場合は、オブジェクト→透明部分を分割・統合処理を行ってください。グラデーションを使用している場合は、オブジェクト→分割・拡張の処理を行ってください。処理のない場合、不具合が起きる可能性があります。必ず処理を行ってください。

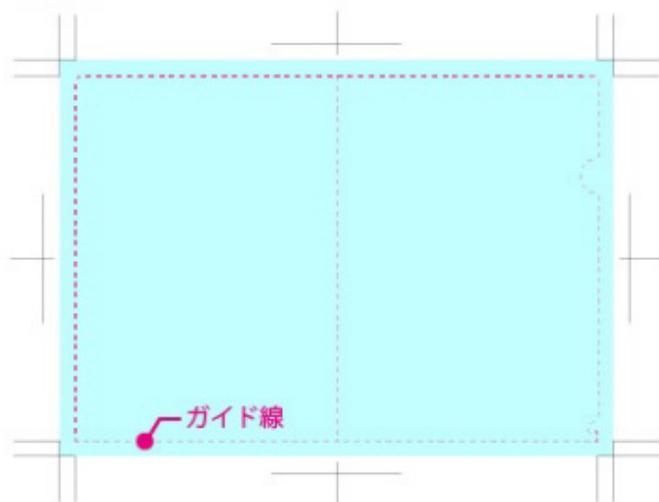
■ Illustrator テンプレートを使用してデータを作成した際の注意点

データは必ず弊社クリアファイル専用テンプレートを使用して作成してください。

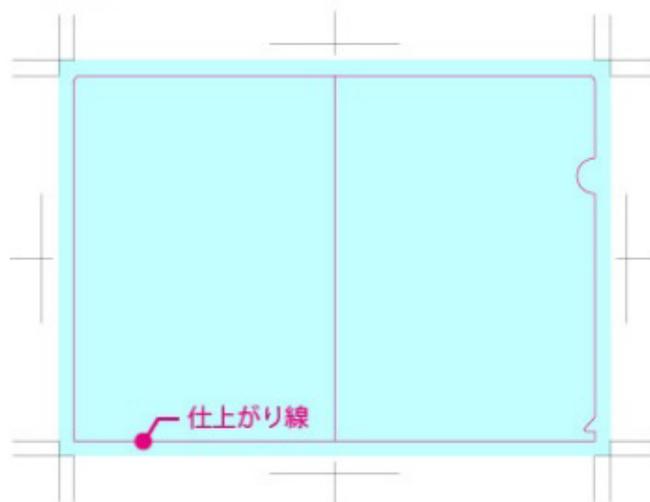
「仕上がり」レイヤー内の仕上がり線のガイドは解除しないようお願いいたします。

クリアファイルの仕上がり線や溶着加工のアタリ線などがデータ内に入っていると、デザインとしてそのまま印刷されてしまいますのでご注意ください。データチェック対象外となります。

○ ガイド線は印刷されません



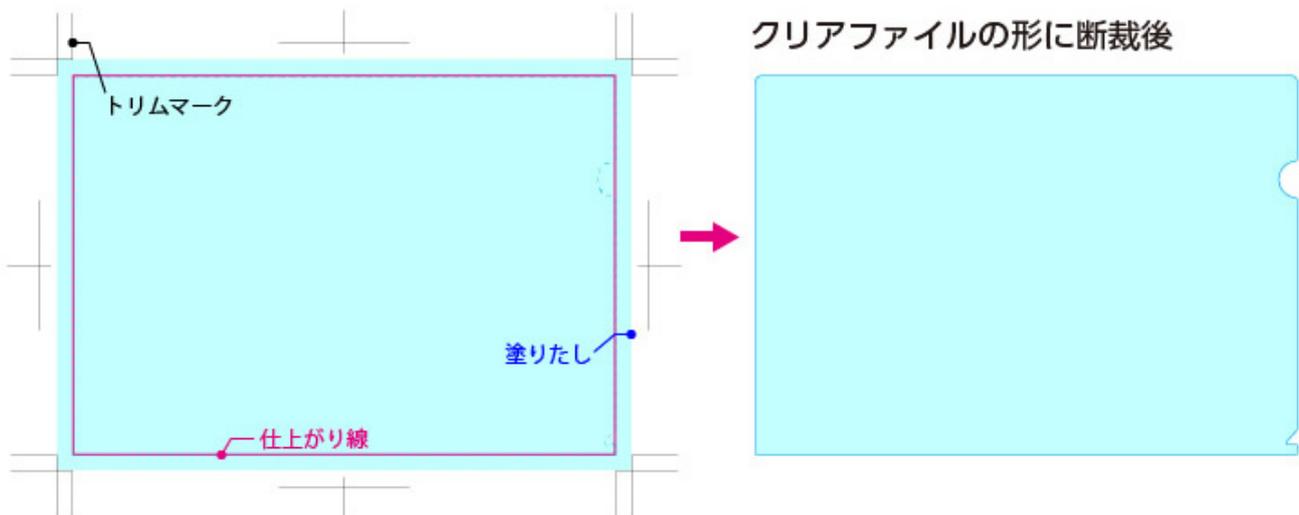
✗ 仕上がり線は印刷されます



■ トンボ（トリムマーク）と塗り足しについて

トンボ（トリムマーク）は印刷物の仕上がり位置と塗り足し部分を指定する為に必要な線です。塗り足しがないと、仕上がりサイズに断裁する時に生じるわずかなズレによって、絵柄が途切れてしまいます。それを防ぐために塗りたしを3mm以上付けていただく必要があります。弊社のクリアファイル各種テンプレートデータには予めトンボがあります。トンボは4色のインキを順に重ねて刷り上げる際、各色版の位置を合わせるための役割も果たしています。

また仕上がり位置ギリギリに切れてはいけない文字等を配置すると、こちらも仕上がりサイズに断裁するときに生じるわずかなズレによって、切れてしまう可能性があります。それを防ぐ為に文字等は仕上がり位置より3mm以上内側に配置してください。

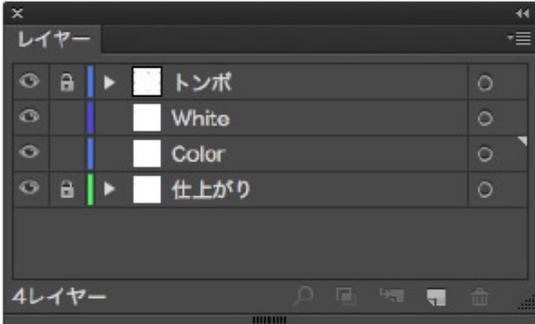


■レイヤー（データの作成場所）について

印刷用データは、カラーデータは「Color」レイヤー内に、白データは「White」レイヤー内にそれぞれレイヤー分けして作成してください。

「トンボ」レイヤーや「仕上がり」レイヤーなどにはロックがかけられており、編集できないように設定されています。これらの中に印刷用データは作成しないでください。

例：A4 クリアファイルテンプレート



このレイヤー内にはデータを作成しないでください

白データ (White)
カラーデータ (Color)

印刷用データは全てこのレイヤーに作成してください

このレイヤー内にはデータを作成しないでください

注) レイヤーのロック設定を解除したり、上下の順序を入れ替えないようにお願い致します。「White」レイヤーは「Color」レイヤーの上になった状態でご入稿ください。

■文字のアウトラインがかかっていない

すべての文字（フォント）にアウトライン処理を行なってください。アウトライン処理をしないと別のパソコンで開いた際、初期設定されているフォントや、近いタイプの別のフォントに置き換わってしまいます。

アウトライン処理とは、テキストデータを図形化(パス化)することで、フォントが無い別のパソコンで開いてもそのままの形で表示することができます。

■アウトライン化されていない文字

KASAM@RT



■別のパソコンで開くと
違うフォントに置き換わります

KASAM@RT

■アウトライン化されていない文字

KASAM@RT



■アウトライン化された文字

KASAM@RT

■ アウトライン処理の方法

- ①レイヤーのロックをすべて外します。
- ②メニュー「オブジェクト」→「すべてをロック解除」を選択します。
- ③メニュー「選択」→「すべてを選択」を選択します。
- ④メニュー「書式」→「アウトラインを作成」を選択します。

すべての文字がパス化されます。

注) アウトライン化された文字は、内容を編集できなくなりますので、アウトライン化前のデータを別名保存しておくことをおすすめいたします。

■ 画像の配置について（埋め込みとリンク）

データに画像を使用した場合、「埋め込み画像」「リンク画像」どちらかで配置してください。（図1）

① 埋め込み画像

Illustrator ファイル内に画像データを埋め込んでしまうこと。

※ファイルの容量は大きくなりますが、リンク切れなどのトラブルがなくなります。

注) 元画像を修正した場合、Illustrator ファイル内の画像には反映されませんので、必ず差し替える必要があります。

② リンク画像

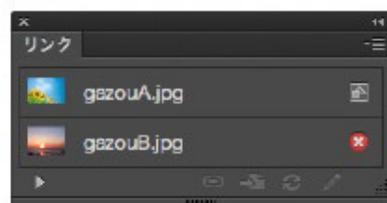
Illustrator ファイルには画像の情報を保存せず、参照（プレビュー）しているだけの状態のこと。

※リンク配置した元画像を編集し Illustrator を更新すれば、Illustrator 上にもその変更が反映されるので、変更後の画像を配置し直す必要がありません。

※ファイルの容量は、埋め込みよりも小さくなりますが、画像データを別のフォルダに移動したり、画像データ名を変更するとリンク切れを起こしてしまい、Illustrator 上で画像が表示されなくなります。

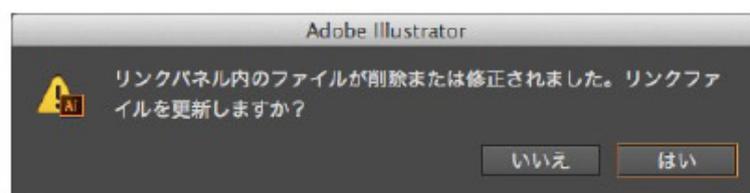
注) 元画像を修正した場合、Illustrator ファイル内のリンクファイルを更新しないと、変更が反映されませんので、必ず更新する必要があります。（図2）

図1



← 埋め込み画像
← リンク切れ画像

図2



次のページへつづく→

■ 保存オプション上での埋め込みはご遠慮ください

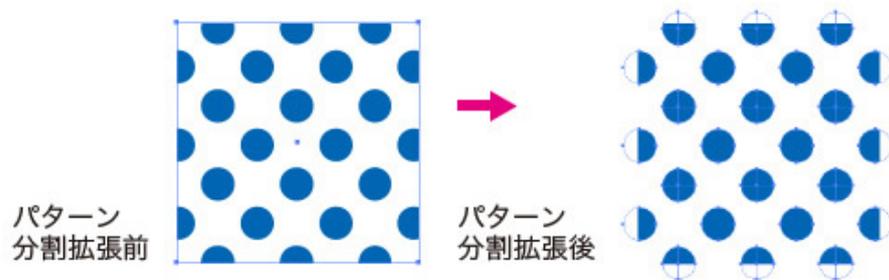
- Illustrator を保存する際に、チェックボックス「配置した画像を含む」にチェックを入れると、自動的に配置されたすべての画像が埋め込まれますが、トラブルの原因となりますのでご注意ください。

■ Illustrator のバージョンによってリンク画像のプレビューは粗く表示される場合があります

- PhotoshopEPS 形式で保存された画像データなどをリンク配置した場合、Illustrator のバージョンによっては、Illustrator 上でのプレビューは粗く表示されますが、元画像データの状態が適切であれば、問題ありませんのでご安心ください。

■パターンの使用について

イラストレーターでパターンを使用した際は必ず「分割・拡張」処理を行なってください。弊社の製版工程で絵柄がズレてしまうことを防ぐためです。塗りのパターンが適用されているオブジェクトを選択し、メニューから「オブジェクト」→「分割・拡張」を選択します。



■文字（フォント）サイズについて

文字サイズがあまりにも小さいと、印刷しても文字としては非常に読みづらくなる可能性があります。弊社ではK100%の文字で6ポイント以上を推奨しておりますが、フォントの種類や文字の形状、背景色との関係によっては6ポイント以上の文字でも読みづらくなる場合がございます。文字のサイズに関してはデータチェック対象外とさせていただきます。弊社では視認性の保証もできかねますので、予めご了承ください。量産前の確認として、量産印刷と同じ条件での色校正(本機本紙色校正)をおすすめしております。

■オーバープリント（K100%のスミノセ）について

！オーバープリントにご注意ください！

オーバープリントとは・・・

オーバープリントとは、色同士を重ねて印刷することです。例えば、背景色の上に黒いオブジェクト（や文字）を乗せた場合、周りに細い隙間が出ることがあります。

これは『見当ズレ』といって、色と色の間にわずかに隙間ができます。インキを重ねて印刷される際に、用紙がわずかに伸縮するため、下図のように隙間ができてしまいます。



オーバープリント設定の例



K100%にはオーバープリント処理が適用されます

弊社では、K100%で作られたオブジェクトに対して、自動的にオーバープリントの処理がされます。こうすることで、見当ズレは防ぐことができますが一方で、色同士が重なることで、下に重なった色がうっすらと透けているように見えてしまいます。小さな文字などは目立ちにくいですが、ベタ面積の広い場合は目立ってしまいます。



オーバープリント処理あり (K100%)
ベタ面積の広いものは目立つ

よくある失敗例

①人物の髪の毛など



②白フチ文字



③写真の上の黒ベタ



オーバープリントされないようにするには？

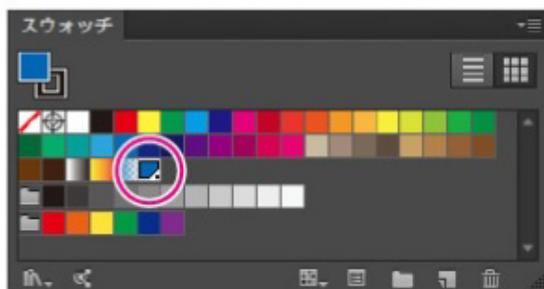
K100% にわずかに別の色（シアン 1% など）を加えて K100%（C0% M0% Y0%）の状態を回避してください。



■カラーデータに特色を使用している

カラーデータに関しては、特色(スポットカラー)を使用しないでください。必ずプロセスカラーに分解して入稿してください。特色を使用している場合、スウォッチウィンドウに特色のスウォッチが表示されます。特色を解除する場合は、スウォッチオプションを開き、カラータイプを「特色」から「プロセスカラー」に変更してください。

この処理により、特色から一番近いとされるプロセスカラーに分解されるのですが、「特色」と同じ色になるわけではありません。プロセスカラーで表現できない色が「特色」ですので、どうしても特色印刷でないといけない、という場合はご相談ください。しかしその場合、提示している価格表よりもお値段がかなり上がってしまいます。



 カラーの右下に白い三角と黒い点がある状態が特色（スポットカラー）です

